

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 2日

事業所名 子どもの広場高畑

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	2	遊ぶスペースと勉強するスペースを分けるようにしている。部屋は狭いが空間を区切るなどして工夫している。	配置等を変え改善が必要。
	2	職員の配置数は適切である	3	0	より良い体制を整えている。常に適切な人数になるように調整している。送迎が忙しい時など職員を追加し対応している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	3		階段のみのためバリアフリー化を配慮する必要あり。事務所が2階にあり階段しかない。バリアフリーが必要な児童は来所していない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	0	随時職員間で話し合っている。より良い業務に取り組むことができるよう努力している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0	しっかり把握して業務改善に努めている。保護者との連携を大切にし意向を取り入れ業務を行っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0	まとめてから公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1	実施指導を受けている。	関わりのない第三者がいらないため難しいように思う。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	積極的に参加している。障がいについてや近年の子どもの生活についての研修を受けている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	0	職員等で分析を出し合い計画作成に努めている。一人一人子供に合った支援方法を考えている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	1		今後考えていきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	0	職員で協力しながらプログラムを話し合い進めている。会議等で時間をかけて行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	0	季節等に合わせて変えるように工夫している。季節ごとのイベントを行うなどしている。定期的に話し合い工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	0	学習→遊び→学習など切り替えを重視している。長期休暇等、時間設定を設けて支援している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	0	個人で取り組む製作、みんなで力を合わせて行う製作など工夫している。毎月季節に応じて計画、作成している。勉強は個別で行い、その他のイベ	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0	毎日ミーティングをし段取りを把握している。朝一日の流れを確認し職員全員で共有するようにしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	0	共有できている。その日伝えておかなければならないことがあれば打ち合わせをしている。	夜はバタバタしてしまうので次の朝振り返りをしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0	気づいたことはすべて記録に書いておく。	

18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	0	定期的に行い今後の支援の方向性を話し合っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	3	0	それぞれに合う支援を考えている。職員と話し合いながら実施している。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0	子どもの状況をよく理解している職員が参画している。 職員で情報を共有しているのでの職員でも対応できるようにしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	0	学校からは直接情報が聞けないため子供を通じて予定を確認している。 子どもを通して月の下校時間学校からの手紙を確認したり、送迎時に学校の先生と話をしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	2		医療的ケアが必要な子どもが通所していない。 今のところ医療的ケアが必要な子どもを受け入れていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0	3	就学前の情報は保護者からのみ聞いている。	保育所や幼稚園等と情報共有はできていない。今後実施していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	1		今まで当てはまる子どもがいないが、今後移行する子供が出た際には提供する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	0	研修に参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2		新型コロナウイルスのこともあり、なかなかそのような機会がない。 今後検討していきたい。 トワイライト等で利用している利用者は多数いる。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	0	講習や部会に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0	送迎時や連絡帳を通じて保護者と情報を共有している。	保護者と連携し、より良い支援が行えるよう努力する。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	3		今のところ実施できていない。今後検討していく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0	契約時の細かく説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0	保護者から相談を受けた内容も職員で共有し対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	3		ブライバシーのこともあり保護者同士の連携はなかなか難しい。 今後検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0	苦情があった時の対応方法を職員で共有している。 責任者にも報告し迅速に対応できるように心がけている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0	HPに載せることにより情報を発信している。 月の予定をおたよりにして配っている。	
	35	個人情報に十分注意している	3	0	鍵付き書庫に保管している。 書類や会話などで外に漏れないように十分注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0	理解しやすいように伝えている。 連絡帳を通して情報を共有できるようにしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	3		感染予防のため行っていない。 地域住民とのふれあいは新型コロナウイルスのこともあり難しい。 今後検討していきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	1	保護者にも伝え職員間で緊急時の役割分担をしマニュアルを把握している。	保護者に周知できていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	0	月一回避難訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0	研修や講習を受けている。 機会があれば積極的に参加している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	0	職員間で共有している。 今現在身体拘束を行うような事例はなく利用者もいないが、いざという時話し合いはしている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	2	情報を共有しおやつや配布など気をつけている。 医師の指示書はないが保護者の方から話を聞き対応している。	食物アレルギーのある子どもがいない。 今後該当することがあれば対応する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0	ヒヤリハットのファイルを作成し職員で共有している。 何かあれば記入し報告している。	